

第1回流山市環境基本計画策定部会 議事録

平成25年9月20日 15時開会 17時30分閉会

1. 受託事業者（コンサルタント）紹介

リジオナル・プランニング・チーム（山本・内藤）

2. 部会委員紹介

吉永明弘部会長、和田登志子副部会長、新保國弘審議会会長、中大路早智江委員
秋元五郎委員（欠席）

3. 改定の考え方及びスケジュールについて（コンサルタントによる説明）

委員からの意見等

発言者	要旨
委員	アンケート対象者について、年代（事務局が子育て世代の抽出を増やすとしている）のほかに、居住年数も考慮できないか。まちづくり達成度アンケートでは居住2年未満の回答がゼロとなっているが、新鮮な意見を持ちやすい新しい住民の意見も重要である。移住の理由が知りたい。浦安から転入してきた方に会ったこともある。
事務局	住民基本台帳からの抽出で、居住年数での区分が可能かどうか検討する。まちづくり達成度アンケートでは居住2年未満を排除したのではなく、回答がなかったと思われる。まちづくり達成度アンケートからは市の魅力等について把握が可能で、本アンケートでも居住年数別のクロス集計での分析を考えている。
委員	過去の経験からみても、若い人たちの回答率を上げる工夫が必要ではないか。若い方々はシビアなので、記念品や商品券で誘うことも考えられるが、その方法となると難しい部分もある。自分の生活に直接関与することであれば、割としっかり返してくる感じもする。
委員	かつて市のアンケートにボールペンが入って届いたことがあるが、そのように筆記用具を付いていると、すぐに書き込みができるのでよい。文化財の看板設置など、アンケートの要望を市が受けて実現してきた印象があるので、やはりアンケートは重要と思う。
委員	それらの方法には作為が入るので、統計学からいえば誤っている。回答率を上げる必要はなく、その内容が重要であり、層別分析ではそれぞれについて有意差検定を行えばよい。若い人が回答しないなど、あらかじめ決めつけてはいけない。例えば医薬品の試験は、被験者には何も知らせないでブラインドで行うくらいである。
事務局	まちづくり達成度アンケートでも回答率を上げる議論がなされて、設問数や設問内容を応えやすくするという方向になったと記憶している。
委員	アンケートは簡単で答えやすいことに徹するのがよい。
委員	この案には答えやすいのもあれば、抽象的な概念で解りにくいものもある。わかりやすく回答しやすい文面にしたほうがよい。
委員	若い人に環境への意識を持ってもらおうとすることは大切である。例えば「やりたい人がやればよい」というような表現は気になる。

4. アンケートについて（コンサルタントによる説明）

委員からの意見等

発言者	要旨
委員	市民Ⅲ-4 で、生物多様性ながれやま戦略のアンケートでは選択肢が北部に偏ったと説明されたが、それはどういう理由なのか。
事務局	生物生息の重要地と考えられた環境が実際に北部に多く、南部や東部が対象にならなかった。
委員	市民Ⅳ-2 で、回答が求められている住宅設備 15 項目は事業者の視点であって、市民は知らないものが多く、数も多すぎるように思う。例えばパッシブソーラーなど。どれだけ答えられるのか、どれだけ市民が必要とする内容なのか、疑問がある。事業者に利用されるような、好ましくない印象を受ける。もう少し簡単にすることはできないか。
事務局	これらは事業を展開する側からの項目設定である。全て国・県や企業が環境対策として普及を図っているもので、実用化・商品化されている。まだ認知度が低いことは想定している。行政や NPO などが補助や支援を推進するにあたって、これらの実態などが基本的な情報として求められるため、アンケートで把握したいと考えている。パッシブソーラーは、ダクトやファンを使って空気の対流を促すような住宅設計の手法で、30 年程前から始まっている。電気自動車充電設備と蓄電池は、県が補助金対象にすることを検討しており、実際のニーズを知っておきたいという意図がある。皆様のご意見をうかがって、答えやすいききかたに改善したい。
委員	回答者が不安や面倒になるのがよくない。それぞれの設備機器の解説を入れたらどうか。
委員	補助金対策であれば、このアンケートの趣旨とは異なるように思う。別のアンケートにしたらどうか。
事務局	アンケートの目的のひとつには、行政の施策の手がかりを得ることがある。
委員	30 年後を見据えるならば、こういった新しいことをきくのもよいと思う。
事務局	視野としては、30 年よりは短いスパンで普及が図られているものである。鑑文の裏面に、家と設備の解説図を入れることを考える。
委員	図が入れば、勉強にもなってよい。
委員	選択肢を改善したらよい。「導入済み」「予定あり」「関心あり」はわかる。「消極的」は「関心ない」に、「該当しない」は「わからない」のほうが答えやすい。自分は家の建て直しを考えているのでほぼ知っているが、どれも温暖化対策で大事なもので、行政が状況を把握することに賛成である。
事務局	行政が市民への補助金を考える際にも、現状の把握が必要である。スマートハウス等で国も拡大しようとしており、現状がどうで、関心がどの程度あり、将来どのように変わりそうかというのは、興味深いデータである。
委員	10 代のデータが欲しい。学校に協力を求めれば可能である。将来に振り返るにも、意識を掘り起こすためにも、よい調査と思う。経費も少ない。
事務局	こどもアンケートは、計画推進の段階で実施することも考えられる。
委員	住宅設備機器で、商品名であることに注記されたい。パッシブソーラーにダクト等の具体的な解説がほしい。

事務局	解説図で対応する。
委員	住宅設備機器はわかる市民が少ないのではないか。
事務局	環境基本計画の中でこういったものの推進を図ることが想定されるため、わからないという回答も有用な情報である。
委員	過去に導入したが今は使っていないという選択肢はどうか。太陽熱温水器はそのひとつと思われる。また、構造的に屋根に乗せられない事情なども想定できる。
事務局	太陽熱温水器は変換効率に優れており、新たな可能性があるようにも聞いている。掘り下げたい意図は理解できる。
委員	「あなたの生活にあてはまるもの」という言い回しは直した方がよい。
委員	1点目として。アンケートの中で情報提供・教育を図ることに関連して、流山の具体的なものを入れたらどうか。VIは具体的である。II-5「ボランティア的な活動があれば参加しますか」と仮定の話ではなく「流山でも●●というような活動がありますか参加しますか」ときいたほうが信頼性の高い回答となる。III-1「身近な自然に関心がありますか」も同様で、「流山は緑被率が高く公園も多いですが、それらに関心がありますか」などとしたほうがよい。
委員	2点目として。答えやすいアンケートは、IV-3「あてはまるものを選んでください」のように余地のないもので、逆に答えにくいものはVやVIのように全部を選びたいので選択に迷うものである。V-1ならば、「ごみについて」「生きものについて」「温暖化について」と単純化したらどうか。細かくきくほど、選ぶのに悩むと思う。
委員	3点目として。自由記載項目について、参考程度に。以前に「美の要素」を言葉で表現してもらったアンケートを行ったことがある。流山の個性、風土性を表現してもらって、住民意識を知ること重要と思う。
委員	4点目として。数値化の例としては「環境時計」というものもあるが、答えにくいかもしれない。「環境を守るためにいくら払いますか」というのも考えられる。
委員	IVでは、市民として協力できるもの、やりたいものを選んでもらうのはどうか。市民には、他人事ではなく自分のことと捉えて欲しい。補助金が欲しいものを選んでもらうことも考えられる。
事務局	単に「最も関心があるもの」ではどうか。お金の面だけではなく、意識を確認したいという広い意味がある。
委員	制限以上に選択した場合、はじかれてしまうことの説明が必要と思う
委員	制限なしで選択というのはどうか
事務局	全て選択する人が増えて、結果に差違がつかなくなるのが想定される。
委員	住宅を建てない人には見えない部分もある。自分もまだよくわからないことも多いと感じるので、意識に働きかけるためのアンケートであってもよいのではないか。
事務局	今回のアンケートは、これまでの調査や計画、施策などを前提に補完したいことを並べているので、環境への関心から始まるようなオーソドックスなストーリー性には欠けている。簡易な設問も難しい設問も混じっており、中でもVIは最も難しいとは思いますが、施策を検討するために把握しておきたい。
委員	VI-3で、どれをやればよいのかわからない。二酸化炭素吸収源や環境家計簿など、効果は期

	待できそうにないと思う。
委員	VI-1 で、バイオマスにグリーンチェーン戦略は入っているのはなぜか。
事務局	グリーンチェーンで増えた緑の剪定枝をリサイクルする連携を意味している。そのことが伝わるよう文面を検討する。事業者アンケートについてはどうか。
委員	最近事業者はしっかりしてきたので、多くの回答が得られると思う。
委員	高气密・高断熱よりも外断熱などのほうがわかりやすいか。一部ではだめなようにもとれる。
事務局	断熱材などの表現を考える。
委員	「わからない」を先頭にして、気楽に答えられる順に並べ替えたらどうか
事務局	そのように改める。
委員	VI-2 も同様に「知らない」を先頭にしたらどうか。
委員	知っているけれど、（環境が）悪化したので行きたくないという人もいるだろう。
委員	利根運河はそうだと思う。水が汚くなった。
事務局	選択肢を「知らない」「名前は知っている」「行ったことがある」としたらどうか
委員全員	(同意)
委員	VI-2 では南部と東部が抜けているので、「これ以外にいいところがあれば教えて欲しい」という設問はどうか。
事務局	III-4「将来に残したい自然環境」の自由記載で対応できないか。VI-2 は「生物多様性ながれやま戦略」の8 拠点についてきいたものである。
委員	VI-2 の文面を、「生物多様性ながれやま戦略」における重点地区の8 拠点について」としてはどうか。
委員全員	(同意)
事務局	そのように改める。

●市民アンケート案の修正事項

設問	修正前	修正後
鑑文 6	流山市環境部環境製作課	流山市環境部環境政策課
鑑文裏面	地区名一覧のみ	設問IV-2 の住宅設備機器を解説する図を挿入
II-5	ごみの問題や減量化、リサイクルを推進するためには、市民・事業者・市が一体的に取り組むことが重要となっていますが、そのようなボランティア的な活動（団体）があれば参加しますか	ごみ問題の解決やリサイクル推進には、市民・事業者・市が一体的に取り組むことが重要です。市内では清掃や資源回収を行うボランティア的な活動が行われていますが、それらの活動に参加しようと思いませんか。
III-1	植物・昆虫・野鳥など、身近な自然に関心がありますか	流山市は水辺や緑が多くあり、オオタカなどが身近に生息していますが、それらの自然に関心

		がありますか
IV-2	あなたの生活にあてはまるものを選んでください。	あなたのご家庭の状況にあてはまるものを選んでください。
IV-2	(わからない場合は無回答でよい)	左記部分を削除
IV-2 選択肢	「導入済み」「予定あり」「関心あり」 「消極的」「該当しない」	「わからない」「関心がない」「興味あり」「予定あり」「導入済み」
IV-2-⑧	高气密化・高断熱化	断熱や気密を高める対策
V-1	環境学習で、将来世代（子ども、青少年）に最も伝えたいテーマを	子どもや青少年の環境学習として、あなたの関心が最も強いテーマを
V-1 選択肢	ごみ問題やリサイクル、資源循環	ごみやリサイクルのこと
V-1 選択肢	動植物や生態系、生物多様性	自然や生きもののこと
V-1 選択肢	農林水産、農地、森林	農業や森のこと
V-1 選択肢	環境に配慮した建築や都市、交通	建物やまち、交通のこと
V-1 選択肢	省エネルギーや新たなエネルギー	エネルギーのこと
V-1 選択肢	気候・気象、地球温暖化	天気や地球の気候のこと
V-1 選択肢	景観や街並み、歴史的な環境のこと	景観や歴史のこと
V-1 選択肢	地形や地質、水環境、自然災害	土地や水、災害のこと
V-1 選択肢	化学物質、放射能等の影響、公害のこと	汚染や公害のこと
V-1 選択肢	世界の環境問題、資源問題	世界の環境や資源のこと
V-2	あなたが参加してみたいと思う（あるいはすでに参加している）環境の活動を	環境の活動について、あなたの関心が最も強いものを
V-3	良好な地域環境を将来世代に残すため、最も重視したいものを	将来世代が受け継ぐ地域環境として、あなたの関心が最も強いものを
VI-1	今後、最も進めて欲しい	あなたの関心が最も強い
VI-1 選択肢	グリーンチェーン戦略連携	グリーンチェーン戦略の剪定枝資源化
VI-2	市内の重要な生物生息地について	「生物多様性ながれやま戦略」の重点地区について
VI-2 選択肢	「よく知っている」「見たことがある」 「名前は知っている」「知らない」	「知らない」「名前は知っている」「行ったことがある」
VI-3	今後、最も進めて欲しい	あなたの関心が最も強い

- 回答率向上のために、作為的な操作（抽出方法、記念品等）は行わず、文面をわかりやすく、内容を答えやすくすることで対応する。
- 事業者アンケートについては特に指摘がなされなかった。市民アンケートと同様の設問については、市民アンケートに準じた修正を行う。